



8月の園だより

令和6年8月1日

目黒区立不動保育園園長

毎年、前年度よりも暑さを感じるようになり、夏ならではの経験として水遊びをして涼しく遊んでいましたが、最近では日差しが強く危険な暑さを感じる日も出てきています。暑さ指数を参考にしながらプール、水遊びを毎日進めています。以前のように毎日プールには入れなくなっているため、室内遊びも楽しんでいきたいと思っています。プール開きは5歳児の可愛い水の妖精たちがプールを安全に楽しめるように魔法をかけてくれました。3歳児はまだ水が怖い子もいます。4歳児になると少し余裕をもって宝拾いも楽しめるようになり、5歳児は友達の姿に刺激をされ、泳ぎたい気持ちも出てきています。

0歳児クラスは、初めての水遊びが始まり、最初は水を怖がるかと心配しましたが、気持ちよさそうに水に触れ笑顔が見られています。1歳児クラスは、ひしゃくやバケツなどを使って水の移しかえをしたり、手作りの噴水に手をかざし水が出てくるのを楽しんでいます。2歳児クラスは、幼児のプールの横でタライや大きな噴水に立ち向かいながら水遊びを楽しんでいます。

まだまだ暑さはこれからです。仕事を終えてお子さんを迎えに来ていただいている保護者の皆様も、水分をこまめにとりながら熱中症に十分気をつけていただき、引き続き準備などご協力をお願いいたします。



今月の予定

8月	プールじまい
9月	総合避難訓練
中旬	避難訓練(全園児) 身体計測(全園児)

～好きな室内遊び～

《0歳児 スズラン組》

保育士がフープにチェーンリングを通し、両端を持って子どもたちの前でゆらゆらさせながら歌っていると、最初は不思議そうに見ていました。何日か続けて歌っていると、保育士の手からチェーンリングを受け取り真似しようとする子が出てきました。しかしチェーンリングからフープが何度も落ちてしまいます。それでも真似したいという思いからか、チェーンリングだけを持ってゆらしていました。保育士と目が合い「ゆらゆら同じね」と声をかけるとにっこり笑顔になっています。保育士が揺れる動きに合わせて「でんでらりゅうば～」と歌い出すと「それぞれ！そのうた」というようにチェーンリングをゆらして楽しんでいました。周りで聞いている子も腹這いで両手足を動かしたり、頭をウンウンと頷くようにリズムを取ったりしながらそれぞれに歌を聞いて楽しんでいます。これからも日頃から手遊び歌に触れて音を感じる楽しさを重ねていきたいと思っています。

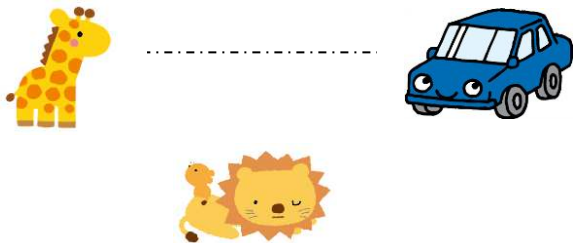


《1歳児 チューリップ組》

子どもたちは見立てて遊ぶことが上手になり、今のお気に入りの遊びは色水の入ったペットボトルを石鹸ボトルに見立てて、お風呂の再現遊びをすることです。保育士がペットボトルの石鹸を手取る真似をし、手や顔を「ゴシゴシ」と洗って見せると、子どもたちも同じように手や顔をゴシゴシと洗い始めます。そのうち頭やお腹も洗い始め、全身をくまなく綺麗に洗っています。「次は石鹸を流さなきゃ」と言いながら保育士がブロックでシャワーをつくと『わたしも！』と同じようにブロックを組み合わせてシャワーを作り、シャワーを浴びると「きれい！」「きもちいい！」と洗った所を得意げな様子で見せてくれる姿がとてかわいいです。水あそびをしながらも子どもたちのイメージを膨らませていけるように、保育士や友達とやり取りをたくさんしていきたいと思っています。

《2歳児 タンポポ組》

子どもたちは牛乳パックなどで作られたベンチを並べ、再現遊びをすることが大好きです。自分でベンチを運び、小さな囲いを作り車が出来上がります。その中に入り「行ってくるね、ぶーん」と言い大きなリングをハンドルに見立てて回し、車の運転手さんに変身です。それを見た友達も「乗っていいですか？」と尋ね「いいですよ」の言葉に笑顔で隣に座ります。「動物園に行こうか」と行先も決まり「あ、ライオンさんいたよ」「次はゾウさん」と本当にそこにいるように見上げたり、手を振ったりしています。時々、窓からご飯もあげてサファリパークに場所が移動します。子どもたちの発想はとても豊かです。これからも子どもたちのイメージに寄り添いながら楽しい雰囲気の中で遊べるようにしていきます。



《3歳児 コスモス組》

簡単なルールのあるカードゲームが楽しめるようになり、毎日カルタや絵合わせカード等の遊びが盛り上がっています。中でも、カルタは繰り返し遊んでいるので取り手の時は、読み札の内容も覚えていて「いい」と言うだけでその絵カードめがけて手を伸ばして自信をもって取っています。近頃は、読み札を読みたくて「私が読むね」と友達に声を掛け最初の文字だけ保育士に教えてもらおうと続きを言えるようになりました。友達がカードを取ると自分のことのように喜んで楽しんでいます。子どもたちそれぞれにお気に入りのカードがあり、自分を取りたかったカードを友達が取ると「これと交換してくれる？」と自分のカードを差し出して交換を持ちかける姿もあります。順番やルールのある遊びに興味広がってきています。これからもルールのある色々なゲームを楽しんでいきたいと思ひます



《4歳児 マーガレット組》

ままごと遊びでは「お母さん役」「お父さん役」など役割を決め、楽しんでいる姿が多く見られるようになりました。ある日の場面ではお母さん役の子が「お父さん、今日は何時に帰って来る？」と聞き、お父さん役の子が「12時だよ。大変なんだ」とやり取りしています。子どもたち同士でのリアリティ溢れる面白いやりとりやに耳を傾けつつ様子を見ていると、それを聞いた赤ちゃん役の子が「パパー行かないでー」と泣く真似をしたりと、セリフを聞いて対応したアドリブ演技が光ります。友達の話聞いた上で自分の経験をうまく生かしながらやりとりをすることも多くなってきました。名子役の多いマーガレット組、更に役になりきり、表現の面白さを友達と一緒に共感イメージを膨らませながら楽しんでいきたいと思ひます。



《5歳児 ヒマワリ組》

自分が引いたカードに描いてあるメニューに合わせて、食材を集めていくカードゲームがあります。和食、定番料理、スイーツなどの種類があり「次、和食やろう」と友達を誘ってゲームが始まります。食材を集めていく段階で相手が何をしようとしているのか推測するのも楽しいようで、相手が先に「そろった！あがり〜！」と言うと「あ〜やっぱりこのメニューだったか！」と悔しがると毎回盛り上がっています。また、毎日の当番活動の中に給食に使う食材をマグネットで貼る時には「鶏肉、知ってる！親子丼に使うよね」等とゲームで得た知識が聞かれたり、給食に筍が出ると「あっ酢豚に入っているやつ」とゲームを思い出して「食べてみようかな」と挑戦する姿が見られるようになりました。これからも遊びの中から生活の場面に繋がるように保育をしていきたいと思ひます。

